

平成29年度事業報告まとめ

横浜南部就労支援センター
湘南地域就労援助センター
(湘南障害者就業・生活支援センター)
中部就労援助センター
(川崎障害者就業・生活支援センター)

社会福祉法人電機神奈川福祉センター
就労支援センター事業部

平成29年度末の3センター状況

3センター総登録者数	
1,897名	
求職者数	就労者数(定着支援)
631名	1,266名

◆ 障害者雇用の傾向

平成30年からの雇用率改定を前に障害者雇用は活発化しており、求人が多い年度であった。雇用率算定化に向けて精神障害者の雇用が徐々に進んでいるが、専門性や経験が求められるなど雇用側のイメージする業務内容と、当事者側の希望する処遇などが合わないことが多くみられた。企業・本人の双方への確認や調整を重ね就労支援を行った結果、3センター合計で181名が新規就労となった。

◆ 企業の動き

新たな登録者のうち33%が企業就労中の定着支援依頼であった。中には体験実習等を行わずに採用した後課題に直面した企業からの相談もあり、雇用拡大に伴って定着支援希望は増えることが見込まれる。フルタイム雇用以外に短時間雇用や在宅勤務の求人情報も出てきており、障害者の働き方に幅広さがみられるようになっている。

◆ 相談の傾向

就労ニースのすそ野が広がり、3障害以外の手帳の無い方や難病の方、生活困窮や引きこもり等の生活支援を伴う方など、すぐには就労につながりにくい層の相談割合が増加。就労準備として福祉サービスにつなげる支援を積極的に行った。精神障害者を中心に在宅者求職者も多く、今後も多様な相談を受けて就労支援を推進するために、福祉・医療・行政など関係機関との連携の深まりと地域ネットワークの強化を進めることが重要である。